

分野  
計画

広報活動の充実

- 効果的な情報発信
- 職員の情報発信力の強化

広聴活動・市民相談対応の充実

- 市民意見の把握
- 「市民の声」への対応



住民自治

1-1

広報・広聴

基本  
方向

市民と行政との間で情報の共有を進め、市民が信頼できる透明で開かれた市政を実現します。

**現状と課題**  
時代の変化に合わせた情報提供  
スマートフォンなどのモバイル端末の普及により情報の収集方法が多様化する中、本市では、広報紙やホームページに加え、SNSなどの新たな媒体を活用した情報提供に取り組んできました。今後も、市の情報提供に対する市民の満足度を向上させるためには、時代の変化に合わせて、更なるSNSの活用や動画配信等を通じ、迅速にわかりやすく情報を提供していくことが求められています。また、職員の情報発信に関する意識を改革していくとともに、スキルを向上させていく必要があります。

**複雑・高度化する市民ニーズへの対応**  
これまで本市では、アンケート調査やパブリックコメントを実施するとともに、市民の様々な意見・相談・要望等「市民の声」

指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値 (令和7年度)
市民の声に対して解決できた割合	33.3%	40.0%
「広報せつつでの情報提供に満足している」と回答した市民の割合	82.3% (令和2年度)	90.0%
「市のホームページでの情報提供に満足している」と回答した市民の割合	60.2% (令和2年度)	70.0%



に対応してきました。今後も様々な工夫を凝らし、より一層の市民意見の把握に努めるとともに、複雑・高度化する市民ニーズに対応していく必要があります。

